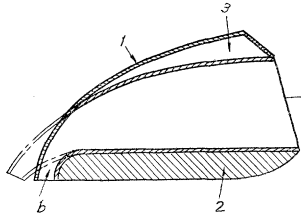


港湾、河川、海などのしゅんせつ機

特公昭 36-2530

発明者 尾崎 克幸

従来海底面のしゅんせつ特に海底ケーブルの埋設においてはポンプを使用して海水などを海底面に向けて噴出させ海底面の土砂を吹きとばしていたものであり、この際海底のしゅんせつに必要な海水のジェット流を得るために、船上からホースなどで海水を圧送していた。これには種々の諸設備を必要とするが、この発明のしゅんせつ機は尾端部に向けて細くなっている円錐形、箱形の洩航体(1)を台船によって水底面上で洩航することにより、洩航体の広口側(a)より入り来る水流を尾端部の噴出口(b)より水底面へジェット流として噴出させるようにしたものである。また空気室(3)、重垂部(2)を設けることにより洩航体の所定位置への安定、左右揺動の防止ができる。

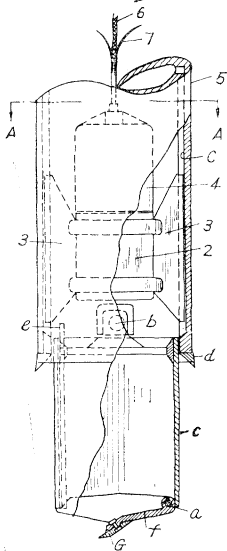


回転掘削機

特公昭 36-3935

発明者 加藤 祐也

軟弱地盤または、せん孔中崩壊しやすい地盤の掘削に使用する回転掘削機に関するもので、滑動棒(3)を取りつけた回転原動機に切削刃(G)、開閉できるふた(t)を有する掘削容器(1)を減速機(2)を介して固定し、原動機をワイヤロープ(6)によってケーシングパイプまたは型枠(5)内壁に設けた案内溝(C)に沿って昇降自由にしたものである。掘削容器の回転はケーシングパイプ内に降下する原動機によってなされるので、従来のように地上から掘削先端におよぶ長尺の回転伝導軸を必要とせず、地上のヤグラ装置もせん孔深度に無関係に低くすることができるほか、原動機に密閉型のものを使用すれば水中における運転も可能となる。



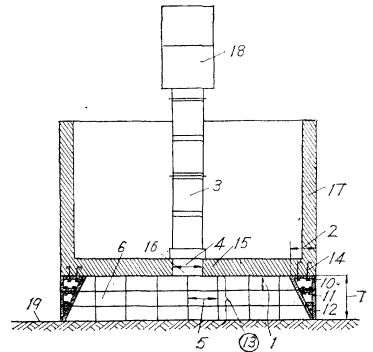
潜函沈下工法

特公昭 36-3991

発明者 石田 富夫

潜函沈下工法において、潜函射体(17)に基礎版(15)として

十分なる強度を有する版を作業室(6)の天井として一体に施行し、作業室の刃口の部分は鋼製、木製などよりなる取りはずし自在の組立式となし、これを基礎版(15)の周囲に取りつけて潜函刃口を構成させる。なお刃口の組立単位片(10)、(11)、(12)は立管(3)から取り出せる大きさにしなければならぬ。そして、基礎版に立管(3)気こう(18)を連結し圧縮空気を作業室に送り、刃口下面を掘削しながら潜函を沈下させ、刃口先端が基礎版の所定深度(19)に達したとき、刃口部分を分解して立管より外部に取り出した後、潜函射体を所定位置まで沈下させるようにしたものである。掘削の深さを刃口の高さだけ節約しうること、および作業室内に充填するコンクリートを節約できる利点を有する。



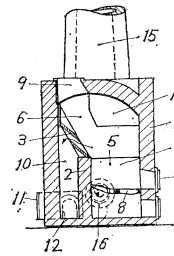
塵芥焼却炉

特公昭 36-3944

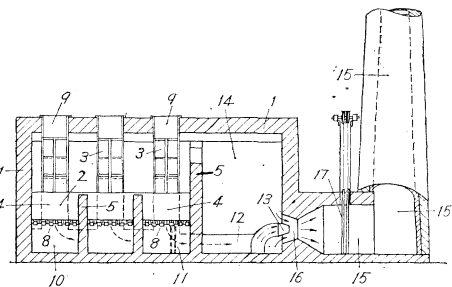
発明者 矢野 雅雄

燃焼室の上部(4)に通気板(3)を斜架してその前面を乾燥室(6)とし燃焼によって生じた高温ガスの一部を通気板(3)を通じて炉壁に沿って設けた排気道(10)に導き、これを排気道の排気端において炉壁に形成した穿約部に向けてノズル(13)を介して放出せしむるようにした塵芥焼却炉であって、焼却すべき塵芥に十分なる熱風もしくは火煙を供給してその乾燥を促進せしめるとともに、これを通じて煙道への吸引力を強力ならしめて燃焼効率を高めることができる。

横断側面図



縦断側面図



(特許庁審査二部 荒木 達雄)

ユース・ホステル



支笏湖ユース・ホステル

国内・国外旅行を通じて宿舎にお困りのことはどなたも共通したなやみでしょう。今月は一つ「ユース・ホステル」について調べてみましたので御紹介します。

ユース・ホステルは今から 50 年ほど前のドイツの Wandervogel 運動（渡り鳥旅行）が始まりとされ現在国際ユース・ホステル連盟に加盟している国は 31 カ国あり、日本では 1954 年に加盟して世界に共通する会員証を発行しております。

ユース・ホステルの会員になるには：日本ユース・ホステル協会発行の入会申込書に住所・氏名・生年月日など必要事項を記入し、会費と写真（5.5×5cm）をそえて申込み、会員パスをもらいます。このパスは国際ユース・ホステル連盟に加盟している 31 カ国で使える国際パスで、毎年イヤースタンプを貼れば何年でも使えます。会費は毎年 1 月 1 日から 12 月 31 日までの年度会費で次のとおりです。

- 少年パス 15才以下 100円
- 青年パス 15～20才まで 200円
- 成人パス 21才以上 300円
- 家族パス (同一家族 6 名まで) 500円
- 指導者パス (20才以下の青少年15人までを) 1000円
(引率する18才以上の指導者)

ホステル使用規定：これにはホステルの予約から到着および出発・生活などについての規則があり、この中にホステルでは部屋は男女別々で酒もタバコも厳禁とし、毛布やフTONの上げ下げ、配膳、食事の後仕末や、掃除にいたるまですべてセルフサービスを原則とする、とあります。

日本ユース・ホステル協会の現有ホステル：現有ホステルの数は、全国に 296 カ所（36 年 5 月現在 表-1 参照）ですが、増減がありますので、詳細は毎月発行される JYH ニュースによって下さい。

宿泊料金：宿泊料は一泊 100～200 円、一泊二食付で 350～400 円程度です。

国際ユース・ホステルの利用：海外旅行にユース・ホステルを利用されるときは、その国のユース・ホステル協会へ相談すれば便宜をはかってくれます。国際ユース・ホステル連盟への加盟国およびホステル数・利用者数は 表-2 のとおりです。

その他：日本ユース・ホステル協会には、東京支部をはじめ全国に 36 支部があります。くわしくは、日本ユース・ホステル協会本部事務局（東京都港区芝罘平町 2 番地、富士観光ビル 7 階、電話(501)9194）へお問合せ下さい。また資料として、1961 年版

表-1

北海道	38	山梨	6	岡山	6
青森	4	長野	28	広島	3
岩手	2	静岡	18	山口	2
宮城	7	富山	1	香川	1
秋田	2	石川	5	高知	5
山形	8	福井	3	愛媛	3
福島	4	岐阜	6	福岡	2
茨城	3	愛知	11	佐賀	1
栃木	7	三重	2	長崎	4
群馬	16	滋賀	8	熊本	2
埼玉	2	京都	8	大分	3
東京	7	大阪	5	宮崎	2
千葉	4	兵庫	30	鹿児島	4
神奈川	6	奈良	2		
新潟	10	和歌山	6		

表-2

国名	ホステル数	宿泊者数(延)
オーストラリア	61	16 461
オーストリア	111	578 505
オーストリア(ブダペスト)	16	111 419
フランス	24	56 680
カナダ	49	9 300
デンマーク	120	466 015
ドイツ	11	23 640
フィンランド	268	1 114 657
イギリス	125	73 713
アイスランド	271	466 801
スウェーデン	719	8 041 541
スイス	10	11 418
アイスランド	5	2 274
アイスランド	146	48 386
アイスランド	33	73 960
アイスランド	17	32 098
アイスランド	14	94 118
アイスランド	70	376 137
アイスランド	240	201 950
アイスランド	12	56 662
アイスランド	10	7 638
アイスランド	55	495 825
アイスランド	27	8 450
アイスランド	190	335 110
アイスランド	60	16 000
アイスランド	9	2 032
アイスランド	89	454 857
アイスランド	258	377 416
アイスランド	145	480 382
アイスランド	33	90 099
アイスランド	9	3 609
アイスランド	99	24 194
計	3 306	14 151 347

「ユース・ホステル・ハンドブック」(JYH 協会発行 100 円)、「国際ユース・ホステル」(JYH 協会発行 150 円)があります。これは学会にもありますので御利用下さい。

注：JYH とは Japan Youth Hostel Inc. (日本ユース・ホステル協会) の略、これに対して I.Y.H.F. International Youth Hostel Federation (国際ユース・ホステル連盟) があり、本部はデンマークのコペンハーゲンにあります。

【編集部】

第 16 回年次学術講演会講演概要集残部について

下記部門の講演概要集の残部が多少ありますので御希望の方は代金をそえて中部支部に御申込み下さい。

- 第 I 部 土質および基礎工学 46 編 150 円 (送料共)
- 第 II 部 橋梁および構造工学 60 編 200 円 (送料共)
- 第 III 部 水理学および水文学・港湾および海岸工学 59 編 200 円 (送料共)
- 申込先 名古屋市昭和区狭間町 30 建設省中部地方建設局企画室内 土木学会中部支部